校報　ひたみちっ子

校　訓
「強く 賢く 美しく」
浜坂南小学校第５８号
令和５年１２月１１日

未来の自分へメッセージ　～6年「タイムカプセル事業」～

１２月８日(金)３校時、６年生は、新温泉町商工会青年部主催の「タイムカプセル事業」で、「８年後の自分に宛てた手紙」を書きました。

卒業が約３か月後に迫った６年生の子どもたちは、８年後の自分の姿を思い浮かべながら、一人一人が心を込めて手紙を書きました。

３月にはこのカプセルの設置式も予定されています。

子どもたちの書いたこの手紙は、多目的集会施設の入り口の所に設置されているタイムカプセルの中に大切に保管され、８年後の「二十歳のつどい」の時に一人一人にプレゼントされることになっています。

８年後の自分はどんな気持ちでこの手紙を読むのでしょう。８年後が楽しみですね。

柔軟な発想で‥　～「ひたみちっ子タイム」で～

１２月６日(水)、高学年(５・６年生)の希望者を対象にした今年１０回目の「ひたみちっ子タイム」(＝「ひょうごがんばり学びタイム」)の学習が行われました。放課後の約１時間、　　先生にご指導いただきながら、算数の学習に取り組んでいます。

毎回、初めに「計算トレーニング」をします。簡単な１００個の足し算、引き算、かけ算、割り算の問題をできるだけ速く解きます。

「１００の問題をできるだけ速く解いて所要時間を記録してください。最初は数分かかるかもしれませんが、２分を目標にしてだんだん速くできるようにがんばってみましょう。よういー、はじめ！」

集中して計算を解く子どもたち。鉛筆で答えを書く音しか聞こえません。まさに真剣そのものです。各自できたら先生に合図を送り、先生ができた時間を伝えると、プリントにその時間を記入していきます。

「前回よりも時間が速くなった人は、そこに〇を付けてください。」

２～４分くらいで終わりました。その後は答え合わせ。

「間違っている所には赤で印をつけてください。」

先生がかなりのスピードで答えを読み上げると、子どもたちは自分の答えが合っているかチェックしていきます。

答え合わせが終わった後、

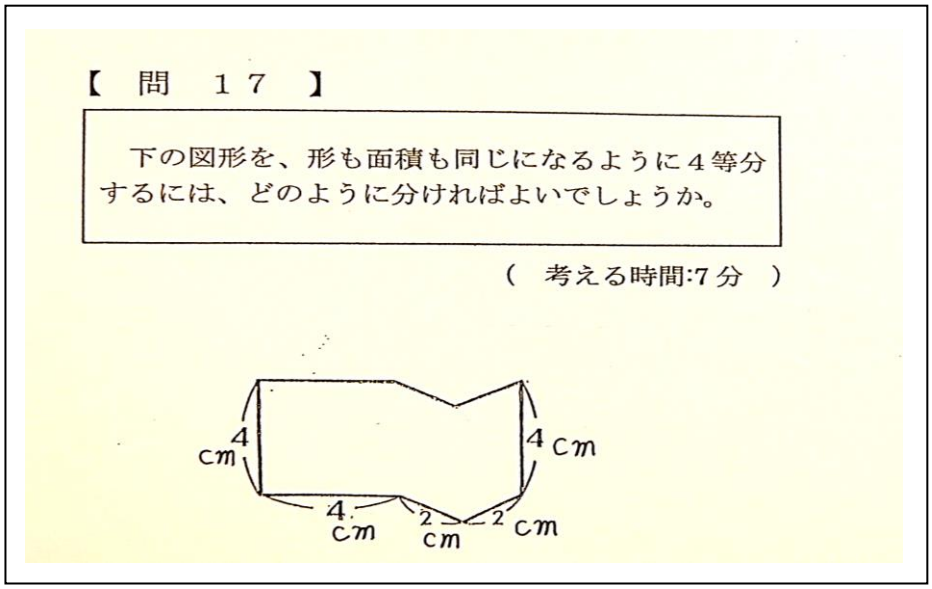
「どうだった？いくつ間違えた?」

「０です。」（全員）

「ほう、みんな、すごいな。」

先生からお褒めの言葉をいただきました。子どもたちも嬉しそうでした。

その後は、先生から次のような問題が出されました。



「線を引いて考えてみてください。」

子どもたちも一生懸命考えていましたが、結局答えは見つかりませんでした。

私(校長)も子どもたちと一緒に７分間考えてみましたが、子どもたちと同様に分かりませんでした。とても悔しかったです。

先生から、正解を教えていただき、「ああ、そうか‥。」と納得。

「大人はある程度知識や経験があります。しかし、それが柔軟な発想の邪魔をしてしまうことがあります。案外子どもたちの方が発想豊かで、すっと解けることもあります。」

この問題を解くことはできませんでしたが、ものの見方を変えたり、発想の転換をしたりすることによって、答えが見つかることもあるのだということが改めてよく分かり、自分の知的好奇心がくすぐられたような感じがして、とても面白いと思えました。子どもたちもますます算数に興味を持つことができたと思います。

皆さんも一度この問題にチャレンジしてみてください。この問題が解けた人は、ひょっとしたら柔軟な発想のできる、賢い人かもしれません。（正解は次号に載せる予定です。お楽しみに‥。）

その後は、いつものように子どもたちに合ったプリント学習を進めていただきました。先生が一人一人に丁寧に指導してくださり、子どもたちも安心して学習に取り組んでいました。

本年度は年間１３回の「ひたみちっ子タイム」。回数は多くないですが、子どもたちはとても中身の濃い充実した時間を過ごしていると思います。計算力や集中力も高まっていると感じます。

おそらく来年度もこの取組は継続されると思いますので、ぜひ参加をご検討いただければと思います。ちなみに参加料は無料です。